

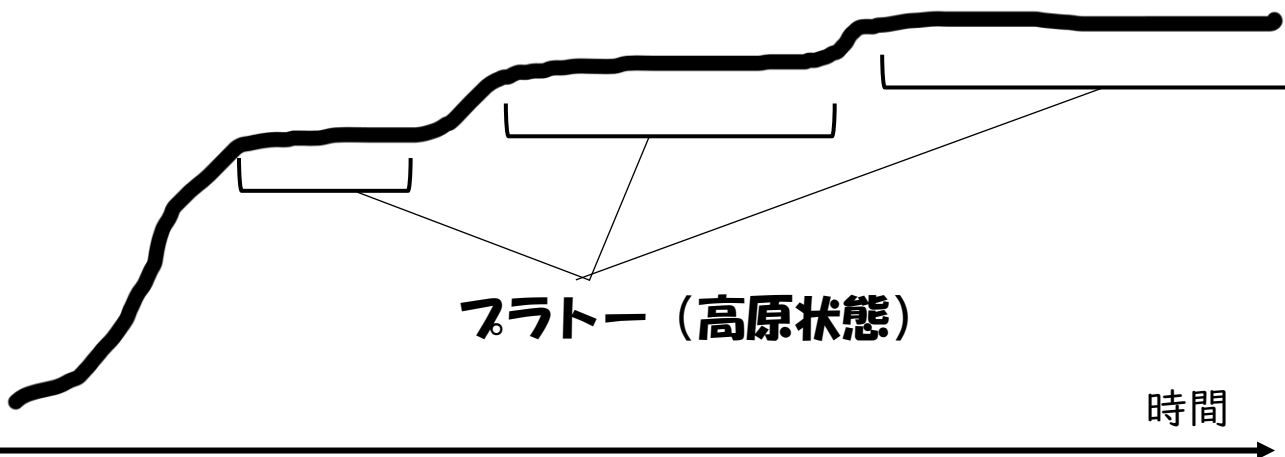
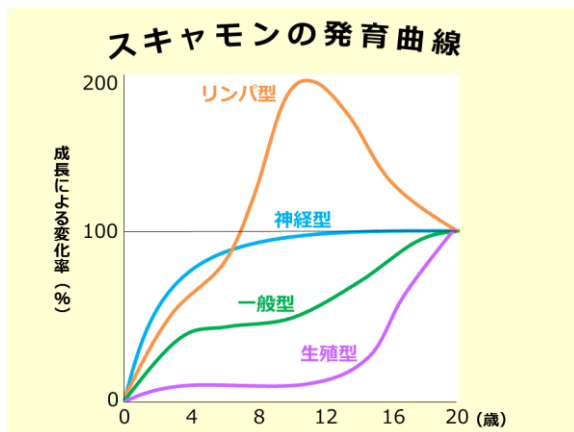


## 発達曲線とは・・・?

皆さん、「**発達曲線**」ってご存じですか? 「**発育曲線**」はきっと聞いたことがありますよね。おそらく保健の教科書に載っているのではないのでしょうか。

では、発達曲線とは? もしかすると、「**成長曲線**」という名前で聞いたことがあるかもしれません。

簡単に描いてみると、こんな感じ(↓)です。



**横軸は「(練習・努力した)時間」**です。**縦軸は「能力(スキル)」**です。

例えば、何かスポーツを始めたとします。全く何も分からない、できない状態からスタートしますね。ここから、いろいろと教えてもらったり、練習したりすると、**短時間で**、一気にそのスポーツのスキルが身に付きます。ただ、ある程度伸びると、今度は**伸び悩み**ます。これを「**高原状態(プラトー)**」と言います。ここで忘れてはいけない**大切なこと**があります。

それは、**能力(スキル)が高くなるほど、フラトーの期間は長くなり、伸び率は小さくなる**ということです。つまり、「**どれだけ練習しても、伸びない**」という状態が長く続くということです。そして、「やっと伸びた」と思っても、**ちょっと伸びたら、また長い長いプラトーが訪れます**。

このことから何を学べるのでしょうか? いろいろな捉え方はできますが、私は、「**人があきらめるころから、がんばれる人が成功する**」ということが言えると思います。まさに、「**成長の難しさ**」を教えてくれるのが、この「**発達曲線**」ではないでしょうか。

「一流」と呼ばれる人が少ないのは、**多くの人**が「**フラトー (高原状態)**」でやる気を失い、**あきらめる**からです。だからこそ、今自分が頑張っていることで成果を出したいと思えば、**人が「これくらいで十分」と思うところから、頑張る (顔晴る) ことが大切**です。